



2015年4月入職

あらまきまさひろ
荒巻将広

1%でも多く、患者さまのご要望を叶えたい

100%は無理であっても、できること

私は昔から人の話を聞くのが好きで、まわりから相談を受けることもよくありました。その特徴は今の仕事でも生きていて、患者さまとお話するのは純粋に楽しいです。日々会話を楽しませていただいているので、患者さまからいただくご要望にはできるだけお応えしたいのですが、おっしゃる内容を100%叶えることが難しい場合もあります。

しかし、叶えられないからと言って、そのご要望の実現を諦めたくはありません。話の序盤で「これは実現が難しそうだな」と思っても、最後まで話に耳を傾けます。「ひょっとしたら、実現できないというのは私の思い込みではないか」「実は叶えられるかもしれない」と上長に提案してみることも少なくありません。「100%は無理でも、そのご要望に近づくパーセンテージを1%でも高めたい。」そんな思いを抱きながら、色々と思案を巡らせます。例え無理難題であっても、NOとは答えず、一度話を持ち帰ることで、たとえ要望が叶えられなかったとしても患者さまにご理解をいただける場合もあります。私としても「叶えられませんでした」で終わるのではなく、次に同じようなケースがあったときに可能な限り希望に沿えるよう、次回以降の改善に活かしていています。

施設全体を俯瞰する目をもって



昨年、上司から「思いやりエキスパートを目指してみないか」と声をかけられたのですが、そのときは自信がなく断りました。なぜなら、思いやりエキスパートは善仁会の顔でもあり、認定を受けている先輩たちと仕事をしたときも、自分とのスキルの違いを如実に感じたからです。しかし、それと同時に憧れを抱いていたのも事実であり、「猶予をください」と上司に伝え、1年後に立候補しました。

思いやりエキスパートの研修を経て、いま私の中に芽生えているのは「患者さまとスタッフ双方を俯瞰した上で行動を起こせる臨床工学技士になりたい」という思いです。患者さまに寄り添うことはもちろん、スタッフに対してもこれまで以上に配慮や思いやりをもって接していきたいと考えています。自分の経験を活かしつつ、ときにはまわりに相談しながら双方のバランスをうまく取り、より良い環境づくりに貢献していきたいよう努めていきたいと思っています。



全てのお客さまに、
どんな時でも
安心感を与えられる
CEを目指します。

荒巻将広